

**大崎広域新斎場整備・運営事業
落札者決定基準**

令和4年7月20日

大崎地域広域行政事務組合

目 次

第 1	落札者決定基準の位置づけ.....	1
第 2	落札者決定の手順.....	1
1.	資格審査.....	1
2.	事業提案審査.....	1
3.	落札者の決定.....	2
第 3	事業提案審査の方法.....	3
1.	基礎審査.....	3
2.	提案内容審査.....	3
3.	価格審査.....	7
4.	総合評価.....	8

第1 落札者決定基準の位置づけ

大崎広域新斎場整備・運営事業（以下「本事業」という。）を実施する事業者には、施設の整備、維持管理、運営に関する専門的な知識やノウハウが求められる。このため、事業者の選定にあたっては、価格及びその他の条件（性能、機能、技術等）によって落札者を決定する総合評価一般競争入札を採用する。

この落札者決定基準は、総合評価一般競争入札により落札者を決定するため、応募者から提出された提案書について可能な限り客観的に評価する基準として示すものである。

第2 落札者決定の手順

落札者決定の手順は、図-1 に示すとおりとする。なお、大崎地域広域行政事務組合（以下「組合」という。）が設置した大崎広域新斎場整備・運営事業に係る事業者選定委員会（以下「事業者選定委員会」という。）が評価・審査を行い、その結果を受けて組合が落札者を決定する。

1. 資格審査

組合は、応募者から提出された入札参加資格審査書類を基に、入札説明書の4.「入札参加資格要件」に示した事項を満たしているかどうかの確認を行う。入札参加資格要件を満たしていることが確認された応募者のみ、次段階の事業提案審査に参加できるものとし、入札参加資格要件を満たしていない応募者は失格とする。なお、入札参加資格審査結果については全応募者に対してそれぞれ個別に通知する。

2. 事業提案審査

1) 基礎審査

事業提案書類に記載された内容が本落札者決定基準に示す基礎審査項目をすべて満たしていることを確認する。

当該審査項目をいずれも満たしていることを確認した応募者のみ、次段階の提案内容審査及び価格審査に進むことができるものとする。

2) 提案内容審査

応募者から提出された事業提案書の提案内容を評価して得点化する。なお、提案内容審査にあたってはプレゼンテーション及びヒアリングを実施する。

3) 価格審査

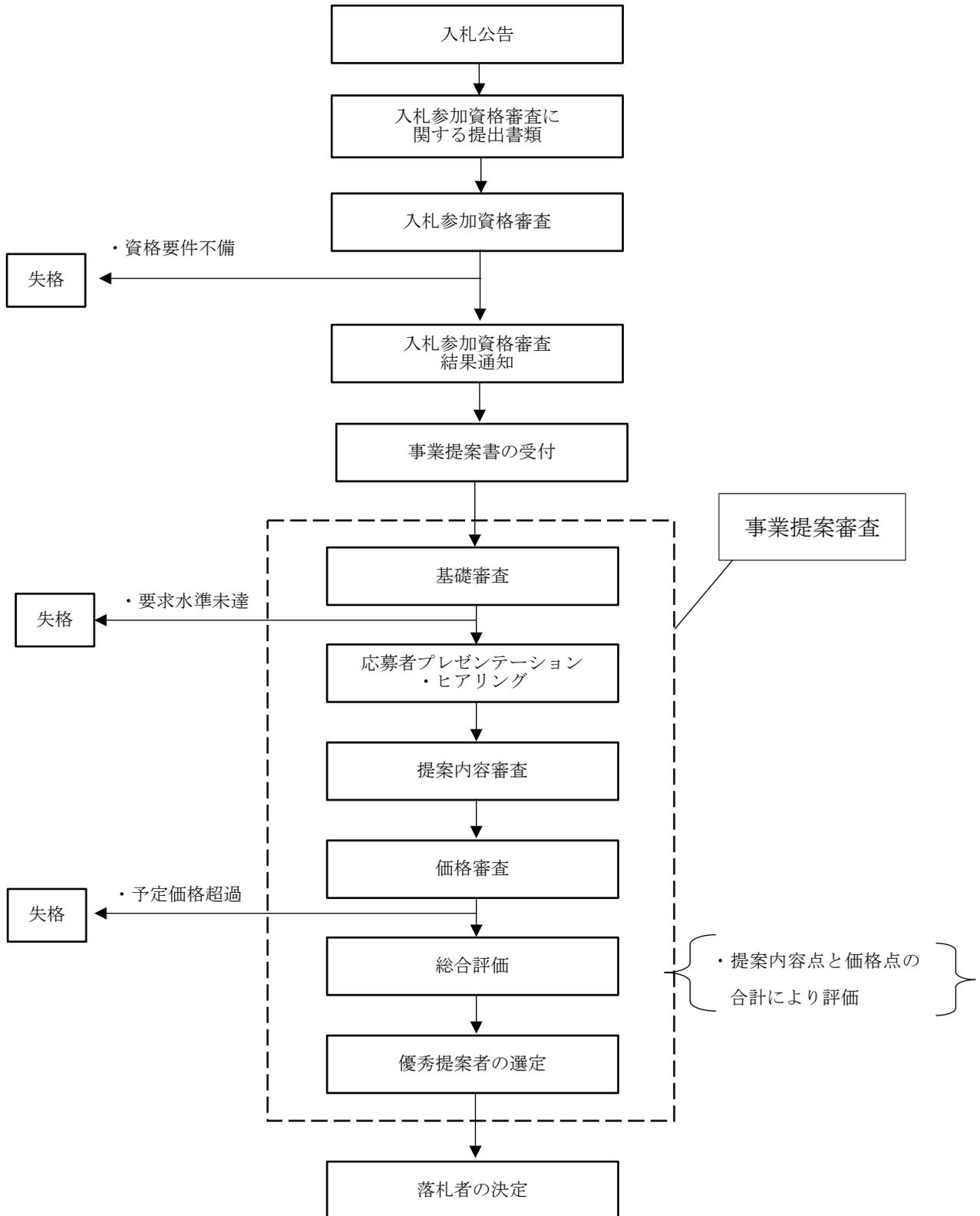
応募者から提出された入札書に記載される入札価格を得点化する。

4) 総合評価

提案内容審査と価格審査の得点を加えて総合的な評価により総合評価点とする。

3. 落札者の決定

事業者選定委員会が実施する評価・審査の結果に基づいて、組合が落札者を決定する。



図－1 落札者決定の手順

第3 事業提案審査の方法

1. 基礎審査

応募者が提出した事業提案書により、以下に示す基礎審査項目を満たしているかどうかを確認する。

◆提出書類の整合確認

- 必要な書類がそろっているか。
- 書類間の整合が図られているか。

◆事業提案書の要求水準確認

- 事業提案書の内容が要求水準を満たしているか。

2. 提案内容審査

1) 評価項目及び配点

提案内容審査の評価項目及び配点は、表-1 に示すとおりである。

表-1 提案内容審査の評価項目及び配点

審査項目		評価のポイント	配点
1. 施設整備業務に関する事項			52点
(1) 配置・動線計画, 外構計画		調整池の配置や車両動線, 駐車場計画など, 将来の建て替えや会葬者等の利便性を考慮した提案となっているか。	7点
		施設へのアプローチ, ロビーや待合室からの眺望を踏まえ, 人生終焉の場としてふさわしいランドスケープの提案となっているか。	
		厳かで安らぎが感じられ, 周囲の景観と調和した外観デザインの提案となっているか。	
		周辺民家からの視線に配慮されているか。周辺景観との調和を図るための工夫した提案となっているか。	
(2) 施設計画	① 内部動線計画	機能の集約化や管理動線の効率化により, コンパクトで葬送の流れを踏まえた提案となっているか。	7点
		諸室の配置や内部動線が明快で, 動線が交錯しない等, 会葬者のプライバシーに配慮した適切な提案となっているか。	
		地域の風習である火葬中の焼香者への対応について, 効果的な提案となっているか。	
	② 諸室計画	諸室の配置・規模について, 遺族や会葬者, 動物炉利用者の利便性やニーズの多様性(小規模葬儀や動物火葬の告別など)を踏まえた提案となっているか。	7点
		空間形状(自然光の取り入れなど)や仕上げ材の選択, 照明計画や, 臭気や騒音対策のほか, 「厳かで安らぎ」が感じられる質の高い, しかし華美すぎない室内計画の提案となっているか。	
		会葬者等の利便性や快適性の他, 遺族の心情に配慮した什器・備品等が具体的な提案となっているか。	
	③ 建築設備計画	環境負荷の低減やランニングコスト低減に寄与する設備計画の提案となっているか。	5点
		臭気対策や火葬炉運転従事者の作業環境を踏まえた設備計画の提案となっているか。	
		自動化や集中管理など, 効率的に維持管理を行うための提案となっているか。	
	④ メンテナンス性	メンテナンスの容易性, 安全性, 及び更新性(他メーカー品との交換の容易性等)を考慮した施設計画, 設備計画の提案となっているか。	2点
⑤ ユニバーサルデザイン	高齢者等すべての利用者にとって利用しやすい施設(サインを含む)・設備計画の提案となっているか。	2点	
(3) 火葬炉設備計画	① 火葬炉の性能	主燃焼炉の燃焼効率, 再燃焼炉のばい煙・臭気の除去に必要な滞留時間, 燃焼温度及び燃焼効率についての効果的な提案となっているか。	2点
		高温ガスの処理や集塵装置などの有害物質や臭気の除去に関する目標値を遵守する提案となっているか。	
	② メンテナンス性	火葬炉の構造・配置計画について, 十分なメンテナンススペースの確保のほか消耗部材の更新のしやすさ等, 維持管理等に配慮した提案となっているか。	2点
		火葬炉機器の仕様や配置について, 将来のオーバーホールや他メーカーでの更新を踏まえた提案となっているか。	
	③ 安全対策, 非常時の対応	火葬炉に対する安全対策について, 火葬炉が異常運転しないようエマージェンシー回路の設定や炉内温度の調整が継続できるシステム設定等の具体的な提案となっているか。	2点
		停電時の火葬炉制御システムのバックアップ方策などを考慮した提案となっているか。	
	停電等故障時の排気手段について, 環境基準を満足するための方策が示された提案となっているか。		
(4) 環境への配慮	建設工事から施設運営に至るすべての過程において, 再生可能エネルギー等の活用をはじめ, できるだけ地球環境への負荷低減を図るための創意工夫のある提案となっているか。	2点	
(5) 防災計画	施設の構造や外壁・天井・設備等について, 防災・耐震対策を踏まえた提案となっているか。	2点	

		災害発生時の火葬炉用の非常用燃料の備蓄について、経済性・効率性に配慮した提案となっているか。	
(6) 施工計画	① 施工計画（工程等）	複合的な工事を工期内で確実に実施することを踏まえ、効果的かつ具体的な提案となっているか。	7点
	② その他	集中豪雨対策（防災調整池含む）や外構及び接続道路の不等沈下対策について適切な提案となっているか。 造成工事、排水設備工事等にあたり、地域への安全や生活環境への配慮、周辺の農地への作業に支障とならないような提案となっているか。	5点
2. 維持管理・運營業務に関する事項			30点
(1) 実施体制		維持管理・運営を適切に行うための実施体制について、配置人数や経験等、具体的な提案となっているか。	7点
		本施設の運営を統括する運営責任者の選定（経験、資格等）について、適切な提案となっているか。	
		不具合や事故、災害等の緊急時の体制について、適切かつ十分な提案となっているか。	
		DBO 事業であることを踏まえ、地元企業を含む企業同士の連携方策など、本施設を効率的かつ効果的に維持管理・運営するための提案となっているか。	
(2) 維持管理計画	① 建築・設備の維持管理計画	次の個別業務の実施内容（項目、頻度、水準等）について、良好な施設水準や安全性を確保するための具体的な提案となっているか。 ・ 建築物保守管理 ・ 建築設備保守管理 ・ 植栽・外構維持管理業務 ・ 清掃業務 ・ 環境衛生管理業務 ・ 備品等管理業務 ・ 警備業務	2点
	② 火葬炉の維持管理・運営計画	火葬炉の保守管理について、良好な施設水準の確保及び長寿命化を踏まえた提案となっているか。 非常時を含め、排ガス類の目標レベルを維持するための方策が示された提案となっているか。 残骨灰・集じん灰の管理、処理について、環境面、遺族の心情面に配慮した適切な提案となっているか。	5点
	③ 長期修繕計画や引渡し	20年間という維持管理・運営期間を踏まえ、予防保全、計画修繕に基づいた点検・保守、修繕計画が示された提案となっているか。 事業終了時の引渡しにあたり、施設や設備の状態について、その後の維持管理費用を含む組合の負担を軽減するような効果的かつ妥当性のある提案となっているか。	7点
(2) 運営計画	① 運営計画	火葬集中時、火葬需要ピーク時を含め、20年間にわたり適切に利用者にサービスを提供するための具体的な提案となっているか。 組合や葬祭業者との調整や連携を踏まえた効果的な提案となっているか。 予約情報や遺骨取り違い、不公平な取り扱いの防止など、運営上のミス・トラブルの予防対策について具体的な提案となっているか。 サービス水準の維持・向上のための従事者研修やセルフモニタリングについて、効果的かつ具体的な提案となっているか。 個人情報保護の対策について、適切な提案となっているか。	7点
	② 光熱水費や使用燃料の節約方法の提案	使用燃料の削減や光熱水費等のエネルギーマネジメント方策について、具体的な提案となっているか。	2点
3. 事業計画に関する事項			18点
(1) 事業実施体制		応募者の構成企業の役割・関係性について、具体的な提案となっているか。	2点
		本事業を適切に実施するための経験やノウハウ、財務上の安定性を有した適切な企業構成を考慮した提案となっているか。	

		複数事業者が長期間に渡り協力して本事業を効果的に実施するための指揮命令系統について示された提案となっているか。	
(2) リスク管理		適切にリスクを管理するための体制が示された提案となっているか。	2点
		本事業の特性を踏まえたリスクが認識され、それに対する対応策（回避・軽減，保有・移転）が示された提案となっているか。	
		本事業の特性を踏まえた保険付保について適切な提案となっているか。	
(3) 地域経済や地域社会への貢献	① 地元企業への発注額	地元発注予定額（整備，運営期間ごと）について，効果的かつ具体的な提案となっているか。	7点
	② 地元雇用等地域経済への貢献	地元雇用（雇用人数，金額，条件など），地域産材の使用について，効果的かつ具体的な提案となっているか。	5点
	③ 地域への貢献	地域住民と良好な信頼関係を構築・継続するための具体的な提案となっているか。	2点

2) 評価項目の採点基準及び得点化方法

表-1 に示す評価項目の採点基準及び得点化方法は、表-2 に示すとおりである。

各評価項目の得点は、事業者選定委員会の各委員が個別に行う採点の平均値とする。

なお、平均値を求める際は、評価項目ごとに小数点第 3 位を四捨五入した値とする。評価項目ごとの得点を合計して提案内容点を算出する。

表-2 提案内容審査における採点基準及び得点化方法

評価	採点基準	得点化方法
A	特に優れている	(配点× 1)
B	AからCの間	(配点×0.75)
C	優れている	(配点× 0.5)
D	CからEの間	(配点×0.25)
E	要求水準を満たす程度	(配点× 0)

3) 提案内容点の算出方法

提案内容点については 60 点満点としており、以下の式により算出する。

提案内容点=60 点× (審査項目点数の合計値/100)

※得点は小数点第 3 位を四捨五入して、小数点第 2 位まで算出する

3. 価格審査

価格点については、40 点満点とし、以下の方法で得点化する。価格点の算定にあたっては、定量化限度額を設定する。定量化限度額以下の価格で入札を行っても失格とはならないが、定量化限度額以下の入札価格の場合の価格点は 40 点満点とする。なお、定量化限度額については、開札時に公表する。

入札価格>定量化限度額 の場合の価格の得点化方法
価格点=40点× (定量化限度額/入札価格)

※得点は小数点第3位を四捨五入して、小数点第2位まで算出する

※入札価格：応募者から提出された入札価格

4. 総合評価

提案内容点と価格点の合計値を総合評価点とし、総合評価点の最も高い提案が複数ある場合には、価格点が高い方の提案をした者を優秀提案者とする。なお、価格点も同点の場合は、当該者にくじを引かせて順位を決定する。当該者のうちくじを引かない者があるときは、当該入札事務に関係ない組合職員が代わりにくじを引き、順位を決定する。

総合評価点 = 提案内容点 + 価格点
